

# 東日本大震災 関連情報（第10報）

平成23年4月15日  
全国老人クラブ連合会

## ●東日本大震災に関する、老人クラブ関連の情報をお伝えします

### 1. 岩手県老連からの情報

県老連が発行している震災情報（第16報）に、炊き出しボランティアの報告がありましたので、転載します。

#### 炊き出しボランティアの参加報告がありました！

このグループは被災地 野田村との交流から、炊き出しボランティア応援要請があったので、相談の結果、参加を決定した。

- 1、日 時：平成23年4月9日（土）
- 2、被災地老連：野田村
- 3、参加老連：二戸市老連「金田一シニアクラブ」
- 4、参加者：小坂ナヨ一行15名の会員（男性6名、女性9名）
- 5、行程及び活動内容

前日（4月8日）、金田一コミュニティセンター調理室で、350人分の米、調味料の下ごしらえをして備えた。

4月9日（土）早朝、同センターで350人分のご飯を炊き、私用車3台に分乗して野田村へ向かった。（所要時間1時間20分）

野田村役場職員の出迎えを受け、早速全員で350人のおにぎり・お汁をつくり昼食を賄った。（避難所は役場と隣接のホール）

「温かいおにぎり・お汁を手にした避難者の方々からは大変喜ばれました。」給食が終わり、役場職員の方々からは大変な感謝の言葉をいただき、14時頃帰途についた。参加した会員も満足顔であった。

【感想】 また参加したい、すごく良いことをした、移動の車がほしい。  
若手の参加必要痛感（体力がいる）、男性の手助け必要（鍋釜の持ち運び）  
避難の人の苦労を思えば、これくらいは何でもない。

## ●「被災県別サポート班体制」幹事会議の開催

全老連発第424号（3月28日付）文書にて連絡した「被災県別サポート班体制」の幹事 5老連による会議を4月14日に開催いたしましたので、別紙1により報告します。（なお、元気袋【2】、応援マーク画像も添付します。）

## ●「被災者にカレンダーを届けるプロジェクト」協力をお願い

別紙3のとおり、全老連では企業などの協力を得てカレンダー収集を行いました。

つきましては、仮設住宅などにおいて活用していただきたく、必要としている被災者へカレンダーを届ける活動を展開いたします。

被災地の地方自治体にも連絡いたしますが、多忙のため、老人クラブのルートで届けることにご協力をお願いいたします。

## ●被災地以外の老連から

上記の幹事会議において得られた、各県老連情報をお伝えします。

### ◇ 友愛のはがき [山形県老連]

従来から実施している「友愛のはがき」を、今年は震災関連で活用することとして、はがきの増し刷りをしたところである。

元気袋作りは、以前実施した経験から作り方をまとめており、他県老連からの問い合わせに答えている。

### ◇ 元気袋作成 [埼玉県老連]

元気袋 800 枚を手作りで製作した。これから中に入れるものを手配して、県内にいる避難者に配布する計画である。

県内各地に避難所ができていて、市町村老連から支援に関する相談をされている。所沢市老連では、避難所で炊き出しをした。

### ◇ 震災支援プロジェクトの設置 [新潟県老連]

新潟県中越地震の経験から、会長を中心に3部会（地域ふれあい、女性文化、健康）メンバーおよび被災経験者（三条市、柏崎市、十日町市、山古志村）計15名による支援プロジェクトを設置し、今月26日に第1回会合を開催する予定。

また元気袋づくりをすすめており、ハガキ大の応援マーク入りメッセージカードを2000枚作成した。県内被災者と避難者のためにカレンダー収集もしている。

## 被災地に“元気袋”（高齢者のまごころ）を届けよう！【2】

平成23年4月15日

全国老人クラブ連合会

### 1. 元気袋の作成と保管について

- ① 元気袋の基本的な考え方は、3月18日付け「地震関連情報第4報」の文書で確認してください。
- ② 元気袋は内容物の如何にかかわらず緊急支援物資として被災者に届けるものではありません。会員のまごころを伝える趣旨であり、被災者の長期にわたる復興の支援に活用します。
- ③ そのためお届けできるタイミングは仮設住宅に入居された以降を想定しています。被災地の状況に応じて、多少時間を要しますことをご理解ください。
- ④ 市町村老連は調達した物品リストを都道府県老連に提出して、送付先が決まるまで保管をお願いします。
- ⑤ なお、すでに避難者の受入れ県となっているところは、各自のご判断で元気袋を配付するルートおよび手順をご検討ください。

### 2. 保管から発送までの流れについて

被災地の要請によって、手順が異なることもありますが、基本的には次の流れを想定しています。

第一段階 被災市町村—①連絡・調整—被災地の縣市老連—②連絡・調整—幹事県

第二段階 幹事県—③連絡・調整—サポート県

第三段階 サポート県—④連絡・調整—市町村老連

〈上記、連絡・調整①～④の説明〉

- ①対応可能な市町村把握（数量の目安）—縣市老連で必要量・送付先リスト作成
- ②リストの受渡と要望の確認
- ③サポート県全体に全体必要量と要望を伝達。  
対応可能なサポート県をリストアップ・調整
- ④サポート県（または市町村老連）から送付要請先に直送（費用は送付側負担）。

### 3. 元気袋の送付方法について

(1) 原則として、袋詰めにしないこと

- (理由) ①送料の節約と被災地でのスペース確保・管理を容易にする。  
②被災地での内容確認を容易にする。(内容物の違いを把握)  
③内容物によって配付対象の選定を可能にする。

(2) 送付内容リストの添付

●送付リスト記載例

送付内容		
(都道府県・市町村老連名)		
1. セット数	100人分	5品目×100セット
2. 袋	100枚	
3. 内容物		
①筆記用具	50本	} 計8品目 500品 (1袋5品目×100人分)
②メモ用紙	80冊	
③タオル	100枚	
④ポケットティッシュ	100個	
⑤ハンカチ(女性用)	30枚	
⑥靴下(男性用)	40枚	
⑦封筒セット	60個	
⑧団扇	40枚	
4. 「応援マーク入り」カード(下記事項を記載)		
	○送り主: 都道府県名・市町村老連名・住所・電話番号	
	○必要に応じて: メッセージ・年月日	

(3) 袋のサイズ、内容物等について

- ① 原則として同じサイズ、同じ内容物であることが望ましい。
- ② ただし、上記①によらない場合でも品目数が多くなり過ぎると袋詰めに手数がかかりますのでご注意ください。
- ③ 本会が企業等から受けた提供物(懐中電灯や携帯ラジオ等)の中には、不良品も混入していました。使用可能かを点検して送るようお願いします。

(4) 配付対象者について

- ① 元気袋は、会員・高齢者に限定せず、被災者全体を支援する目的で行うことをご理解ください。
- ② ただし、避難者受入れ県で自主配付される場合は実施者側でご判断ください。

(5) 配付時期、方法について

- ① 被災地の状況によって異なります。避難所、仮設住宅、在宅被災者、集会会場など、さまざまな機会が想定されます。
- ② 原則は被災地の老人クラブ関係者に依頼しますが、隣接市町村老連の応援を得たり、老人クラブ会員だけで配付できない場合は、自治会や社協等の組織・団体の協力が必要な場合も想定されます。
- ③ これらの条件が整った被災地に届けられますので、配付方法、時期、対象等は最終的には現地の判断に委ねます。

(6) 「応援マーク」(元気袋イラスト)

「応援マーク」を作りました。画像データを別添でお送りしますので、ご活用ください。

【活用法】

- 送り主の老人クラブ名、住所等の基本情報の記載用
- メッセージカードとしての利用
- 段ボール箱への貼り付け
- その他



#### 4. 現在の被災地状況について（4月中旬現在）

- ・ マスコミ報道のとおり、緊急救援物資（食料・水・医薬品・燃料等）は、支援ルートが徐々に整っています。また行政ルートでの救援物資募集は締め切るところが多くなっています。
- ・ 避難者のプライバシー保護や生活環境への配慮から、避難所への外部からの支援が制約されるなど、老人クラブ関係者の支援活動が難しい状況もあります。
- ・ 老人クラブのまごころ“元気袋”の活用は、震災後およそ3～6カ月後と想定していましたが、被災地によってはさらに遅れることも予想されます。
- ・ 老人クラブは中・長期的な被災地支援が必要と思われませんが、支援の受入れ体制は被災県及び市町村によって違いがあります。具体的な支援のタイミングはサポート幹事県を通じてご連絡させていただきます。

## 被災者にカレンダーを届けるプロジェクト

老人クラブ関係者

行政・福祉・被災地支援関係者 各位

平成23年4月15日

全国老人クラブ連合会

東日本大震災による甚大な被害の発生に心からお見舞い申し上げます。

全国の老人クラブ会員は、被災地の皆様が元気を取り戻し、未来への希望を持って復興へ歩みだすことを願い、「被災者にカレンダーを届けるプロジェクト」をすすめています。

わたしたちは、阪神淡路大震災支援の体験から、被災された皆様に仮設住宅（避難所を含む）でご活用いただくため、企業・団体等に呼びかけ、カレンダー（平成23年版）の寄贈をお願いいたしました。（なお、4月15日で受入は終了しました）

この呼びかけに対し、短期間に多数の企業・美術館・ボランティア団体等の幅広いご協力をいただき、現在約2万点に及ぶカレンダーが寄せられました。

つきましては、このカレンダーが必要とされる方々に届くように、老人クラブをはじめ各方面の関係者に、下記によりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 「被災者にカレンダーを届けるプロジェクト」の周知

プロジェクトの趣旨をご理解のうえ、被災者とのつなぎ役ができる方々への情報提供をお願いします。また「お届けボランティア」が可能な方のご協力をお願いします。

#### 2. カレンダー申し込みについて

- ① 必要事項を記載のうえ、**FAX もしくは E-mail** でご連絡ください。
- ② 送付は **1箱(約50点)単位** でお送りします。送料は本会で負担いたします。
- ③ 申込記載事項

○団体名・代表者（担当者）氏名・住所・郵便番号・電話番号・必要点数  
（なお、サイズの大小、壁掛け・卓上用のご要望には応じられませんので、何卒ご了承ください。）

#### 3. 問い合わせ・連絡先について

財団法人 全国老人クラブ連合会

〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

電話：03-3581-5658 FAX：03-3597-9447

E-mail：zenrou@sepia.ocn.ne.jp

（※数に限りがありますので、なくなり次第終了させていただきます。）